

備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

発行：平成26(2014)年6月18日

【お問い合わせ先】
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL:0799-26-2055 FAX:0799-24-4513
URL:http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html
e-mail:sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

春号
spring
VOL.31

淡路に関連の深い分野別計画の紹介

県では、自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の3つの視点のもとで各種分野別計画などの緊急かつ重要な社会基盤整備の取り組みを、計画的・効率的に進めていきます。そこで今回は各種分野別計画の中で淡路地域に関連の深い計画をご紹介します。

梅雨のシーズンに突入しました。大雨には注意し、もしもに備えましょう。



兵庫県マスコット
はぼたん

季刊紙『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

AWAJI ISLAND MAP



津波防災インフラ整備5箇年計画

(平成26(25)~30年度)

最大クラスの津波に備えるため、防潮堤の整備・補強など緊急かつ重要な事業を5年間(平成30年度まで)で完了し、津波対策は10年間で概ね完了します。

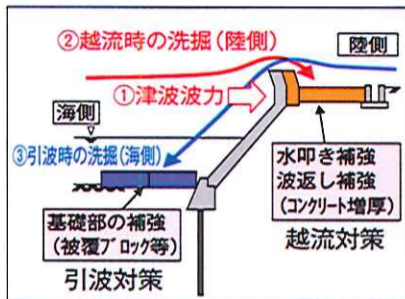
レベル1 津波	津波の越流を 防御	津波防御対策 防潮堤の整備、陸閘・水門等の自動化・遠隔操作化・電動化等
●発生頻度が高い(概ね100年に1回)		避難支援対策 道路情報板による津波情報の提供等
●安政南海地震並みのM8.4		
レベル2 津波	津波の浸水被害を 軽減	既存施設強化 防潮堤の越流・引波対策(ねばり強い構造への補強)
●発生頻度が非常に低い		津波被害軽減 防潮水門の下流側への移設等
●最大クラスのM9.0		避難支援対策 道路情報板による津波情報の提供等
●甚大な津波被害が想定される地区を「重点整備地区」に設定 淡路島内では、「福良港」「阿万港」「沼島漁港」「炬口地区」の4地区		



【防潮堤整備(福良港)】



【本庄川 水門設置イメージ図】



【防潮堤の越流・引波対策】



【道路情報板による津波情報提供】

第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画

(平成26~30年度)

緊急5箇年計画(平成21~25年度)に引き続き、災害発生時に人家への影響が大きいなど緊急性の高い箇所の砂防えん堤等の整備を推進します。県下で年間約40箇所の整備を進め、全体で約200箇所の対策を行います。

急傾斜地崩壊対策事業
対策事例
(洲本市鮎原南谷地区)



計画内容

人家等保全対策

(砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業、治山事業)
保全対象の人家が多い未対策箇所(概ね10戸以上)のうち、緊急性の高い箇所、砂防堰堤や治山ダム等を重点的に整備。

流木・土砂流出防止対策

(治山事業)
谷筋にスギ、ヒノキが植林された渓流を対象に、流木災害のおそれが高い箇所から、治山ダムを重点的に整備。

災害に強い森作り

(緊急防災林整備)
谷筋にスギ、ヒノキが植林された渓流を対象に、流木災害のおそれが高い箇所から、危険木の除去、間伐などによる災害干渉林整備を実施。

地域の防災道路強靱化プラン

(平成26~35年度)

大規模地震に備え、強靱な県土を構築するため、緊急輸送道路の整備・強化及び、それを補完するルートの脆弱区間の解消を推進します。

10年間の整備目標		島内の整備箇所
緊急輸送道路	①残る2車線が確保されていない区間の2車線化を完了 ②広幅員化等の機能強化が必要な区間の整備を推進 ③落石等の恐れのある道のり面の防災対策を概ね3年で完了	(主)福良江井岩屋線 (主)洲本五色線
緊急輸送道路の補完ルート	④2車線が確保されていない区間のうち、緊急性が高い箇所の整備を推進	(一)多賀洲本線 (一)上内膳塩尾線 (一)鳥飼浦洲本線



新渋滞交差点解消プログラム

(平成26~30年度)

県管理道路の渋滞交差点
70箇所を選定
(島内では
湊・中島交差点の2カ所)

【右折車線の設置新設・拡充】

右折車両が邪魔で直進できない
→
右折車両が邪魔にならなくなった。

【道路の拡幅】

交通量が多くて、なかなか進まない
→
車線が増えてスムーズに動くようになった。



【湊交差点】 【中島交差点】

~渋滞交差点とは~

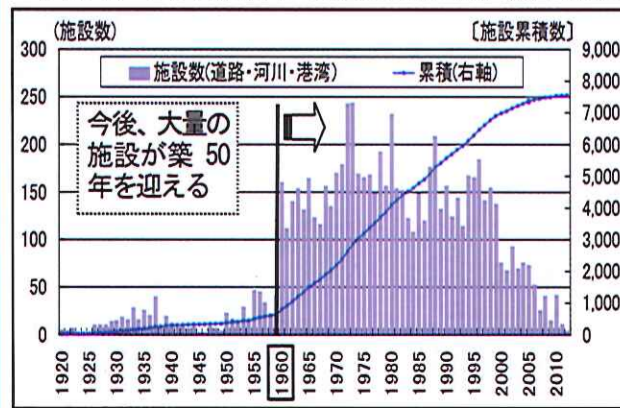
- ①信号のある交差点で、信号待ち3回以上
- ②信号のない交差点で、通過に2分以上
- ③①・②以外で、地元や公安委員会などから強く改善を求められている

渋滞交差点の半減を目標。
(湊・中島交差点は平成30年度までに渋滞解消の予定)

ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画

(平成26~35年度)

県管理の社会基盤施設(インフラ)の多くは高度経済成長期以降に建設されており、今後、大量の施設が築50年を迎えます。このため、将来にわたり安心・安全なインフラを維持するため、計画的・効率的に老朽化対策を実施します。



古くなっていく施設の安全を守らなきゃ!



点検
↓
評価
↑
対策

- 土木構造物...5年ごと(トンネル、橋など)
- 機械・電気設備...毎年(排水機場、水門、堰など)

優先度 (特A) 早期対策
(A) 要対策
(B) 要観察
(C) 対策不要

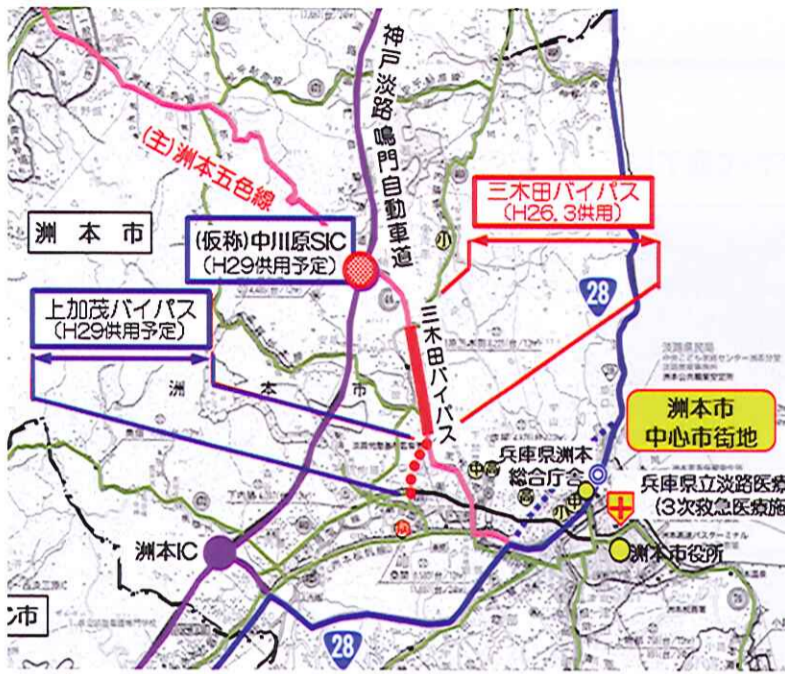
- 要対策(A) 約10年で完了
- 早期対策(特A) 特にひどい箇所は、約3年で完了

【マップ①】(主)洲本五色線 三木田バイパス供用開始!! (平成26年3月30日)

(主)洲本五色線は、淡路島のほぼ中央を横断する道路で、洲本市街地と五色地区を連絡する幹線道路です。このうち洲本市三木田地区では、幅員が狭く、歩道がないため、大型車同士のすれ違いや、歩行者・自転車利用者の安全確保が困難な状況でした。県ではこれらの課題を解消するため、平成19年度からバイパス整備に着手し、このたび平成26年3月30日に開通しました。

現在、三木田バイパスに続く上加茂バイパスの整備を進めており、これらバイパスの完成により、平成29年度末供用予定の中川原SIC(スマートインターチェンジ)への行き来がスムーズになります。

位置図



平成26年3月30日 開通の様子



2車線で歩道付きの道路ができて、すれ違いも安全だね!



☆通学路緊急合同点検結果に基づく安全対策事業が完了!!

平成24年4月、京都府亀岡市で登校中の児童等の列に自動車が入り込み、多数の死傷者が出るという痛ましい事故が発生したことなどを踏まえて実施した、緊急合同点検(学校、道路管理者、警察)の結果に基づき、県で実施してきた通学路の安全対策(歩道整備、路肩のカラー舗装、路肩拡幅など)が完了しました。

なお、西浦県道((主)福良江井岩屋線)の通学路における最大の難所であった、淡路市浅野南地区の歩道整備も完了し、子供たちが安全に通学出来る環境が整いました。ドライバーの皆様、安全運転にご協力をお願いします。

○歩道整備(淡路市浅野南地区)

○路肩のカラー舗装(淡路市尾崎)



あわじ総合緑花プランの推進

http://web.pref.hyogo.lg.jp/aw04/aw04_2_00000001.html

あわじ総合緑花プラン

検索

緑花学習教室

平成25年度は11回開催しました。下の写真は那时的様子です。今年度もご応募お待ちしております。開催の様子は夏号から紹介していきます!

「土木事務所」というと、道路、公園、河川、港湾など「インフラに関する業務を行っているところ」とイメージする人が多いかと思いますが、これら以外にも、緑花、景観づくり、都市と農村の交流を進める業務などを行っています。ここでは、緑花に関する取組として「緑花学習教室」について紹介します。

「緑花学習教室」は、主に保育所、幼稚園、小学校の児童を対象に、緑のパトロール隊や地域の緑花グループが講師となり、土づくり、種まき、苗の植え方、水やりの仕方について学んでもらいます。

草花にふれあう機会を設け、生き物に対する慈愛の心を育み、植物に親しみを持ってもらうことを目的としています。この取組を通じて、花みどりや笑顔あふれる美しい淡路島が、いつまでも続いていくことを期待しています。

今年度も緑花学習教室を10回程度開催することとしていますので、みなさまからのご応募お待ちしております。



備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513
URL: <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行:平成26(2014)年9月12日

夏号
summer
VOL.32

平成16年台風23号災害から10年 水害に負けない淡路へ

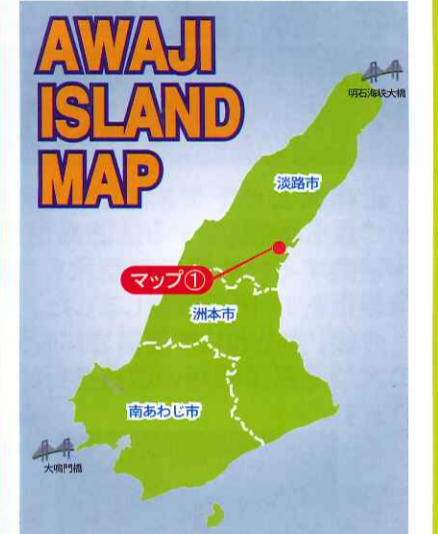
台風が接近する時期になりました。水が増えた河川は危ないから近づかないようにね。

マップ① 志筑川放水路が完成しました

平成26年5月末、大雨による浸水被害を防ぐため、整備を進めていた志筑川放水路が完成しました。この完成により、平成16年台風23号と同等の降雨があった場合でも、水が志筑川から放水路を通して宝珠川に流れるため、長年悩まされていた志筑地区の浸水被害の解消を期待します。6月25日には、地元関係者や中田保育園の園児らによる完成記念式典が行われ、放水路の完成を祝いました。



季刊紙『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。



防災・減災 まちづくり シンポジウム2014

— 災害から市民の暮らしを守る —

開催日: 2014年 10/20 [月]
14:00-17:20

会場: 洲本市文化体育館
参加費: 無料

主催: 台風23号災害10年継承事業実行委員会
事務局: 洲本市総務部消防防災課
TEL: 0799-22-3321

開催趣旨: 平成16年の台風23号から10年を経て、水害で大きく被災した洲本から水害を風化させず、その貴重な教訓や経験を生かした、防災・減災のまちづくりに何が必要かを模索し、これからの淡路を考えていくための新たな示唆を得るため、本シンポジウムを開催します。

台風の際に、効果を発揮しました。
8月10日の台風11号の際には放水路に約50m³/sの水量が流れ、志筑川本川下流域の水位の上昇を防ぎました。志筑川本川の流下能力は約30m³/sであり、放水路がなければ溢れていたと思われます。



大雨が降っても、水位が上がらなかった志筑川本川
放水路からの水が流入しても、安全に水を流下する宝珠川

関連イベント

総合治水出前講座
【時間】13:15~14:00
【場所】洲本市文化体育館西側駐車場前
洲本市の第一・第二小学校5年生60名を対象に模型やクイズで伝える総合治水出前講座を実施します。

洲本川ウォーク
【コース】桑間井堰~文化体育館(5km)
【時間】9:00~12:00頃
【申込】シンポジウムチラシの申込用紙からインターネットで下記URLから

洲本川災害パネル展示
【時間】13:15~17:30
【場所】文化ホール エントランス
平成16年当時の被災状況などのパネル展示をします。

洲本川ウォーク申込みURL: http://web.pref.hyogo.lg.jp/awk11/sumotogawa_walk.html

◇ダムカードの紹介

「ご当地ダムカード」*1が、ひそかな人気を集めており、淡路島内でも県管理5ダム*2(三原川水系)のカードが手に入ります。〔ダムまでお越しの方、1人につき1組をお渡ししています。〕



◆ダムの目的
 F: 洪水調節 N: 河川の正常な流量の維持
 W: 上水道 A: かんがい
 P: 発電 I: 工業用水

◆ダムの形式
 G: 重力式コンクリートダム E: アースフィルダム
 HG: 中空重力式コンクリートダム R: ロックフィルダム
 A: アーチ式コンクリートダム GA: 重力式アーチダム

実寸(裏) DAM-DATA

所在地: 兵庫県南あわじ市神代浦壁
 河川名: 三原川水系諭鶴羽川
 型式: 重力式コンクリートダム
 ゲート: ゲートレス(自然越流方式)
 堤高・堤頂長: 43.9m・173m
 総貯水容量: 130万m³
 管理者: 兵庫県
 本体着工/完成年: 1971/1975年

ランダム情報
 地域の憩いの場として多くの皆様に利用されています。特にダム周辺の桜並木や山を覆う自生の山桜、上流のホタルは訪れる人々の目を惹きつけてくれます。

こだわり技術
 平成12年度から平成16年度にかけて、ゲート調節方式から自然調節方式とするゲートレス化工事を実施した。

近畿地方ダム連絡協議会

◆ダム基本情報
 所在地、河川名、ダムの形式
 ゲート、堤高・堤頂長さ
 総貯水容量、管理者
 本体着工/完成年・・・等

◆ランダム情報
 当該施設もしくは施設周辺の情報について記載しています。

◆こだわり情報
 当該施設のこだわり技術(世界・日本唯一もしくは最初に採用した技術等)について記載しています。

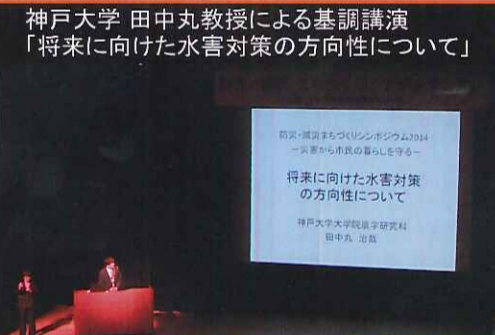
*2 下記の5ダム *1 ダムカード(近畿地方ダム連絡協議会が作成)

①諭鶴羽ダム ②大日ダム ③牛内ダム ④成相ダム ⑤北富士ダム
 配布場所: 南あわじ市賀集生子【三原川水系ダム統合管理所(大日ダム管理所)】
 配布日時: 土・日・祝祭日・年末年始を除く 9:00 ~ 17:00 (TEL:0799-52-2929 FAX:0799-52-2930)
 全国のダムカード配布場所は、下記を参照願います。
 国土交通省のページ URL: <http://www.mlit.go.jp/river/kankyoo/campaign/shunnkan/damcard.html>

「防災・減災まちづくりシンポジウム2014」の開催報告

淡路島内に甚大な被害をもたらした平成16年の台風23号から10年を経て、水害を風化させず、その貴重な教訓を語り継ぐため、災害から市民の暮らしを守る「防災・減災まちづくりシンポジウム2014」を10月20日に洲本市文化体育館にて開催しました。平日にも関わらず約450の方が参加されました。会場ではアドプト活動団体「みけつの里川づくり協議会」の代表者芳谷氏へ洲本川堤防の美化・清掃、草刈り、除草等積極的な取組を称え感謝状を贈呈した。シンポジウムでは、神戸大学の田中丸教授が基調講演で「河川、ダムの整備だけでなく、今後は流域全体で対策する総合治水の考え方が重要」と指摘し、ため池の活用と水田に一時的にためる「田んぼダム」を紹介した。パネルディスカッションでは、災害時の情報の重要性、防災知識や災害時の行動を普段から備えておく等々の意見が交わされた。その他のイベントでは、総合治水出前講座で洲本第一第二小学校の5年生の生徒約60人に、模型を使った実験や紙芝居を通じて河川改修に限らない総合治水の大切さを伝えた。

◇シンポジウム開催前の13日に来襲した台風19号は10年前の台風23号を上回る降雨規模にもかかわらず、氾濫等がなかったのは、河川改修等ハード対策の効果のみならず、総合治水のひとつであるため池の事前水位下げを行った効果が大きかったと思われる。



「淡路島百景」切手に載せて広めよう!

「淡路島百景」とは、皆さんが生活の中で守り育てていきたいと感じる、また、淡路島らしいと感じる100の景観で、皆様の投票により選ばれたものです。この「淡路島百景」を、日本郵便(株)近畿支社が、オリジナルフレーム切手として第1編を今年の8月6日から島内郵便局で販売を開始しました。現在、好評につき第2編を10月24日から販売しています。島内の住民・事業者をはじめ多くの方に使用していただくことにより、淡路島のすばらしい景観に興味を持っていただき、訪れるきっかけになればと思います。切手販売に関する問い合わせ及び「淡路島百景」に関する問い合わせについては、下記のお問い合わせ先をお願いします。



①切手販売に関する問い合わせ
 日本郵便(株)近畿支社 郵便局本部 営業部(郵便・物販担当) TEL:06-6944-8157

②淡路島百景に関する問い合わせ先
 淡路県民局洲本土木事務所まちづくり建築課 TEL:0799-26-3213 FAX:0799-24-4513

【第1編(8月6日販売開始)完売】 【第2編(10月24日販売開始)】

備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513
URL: <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

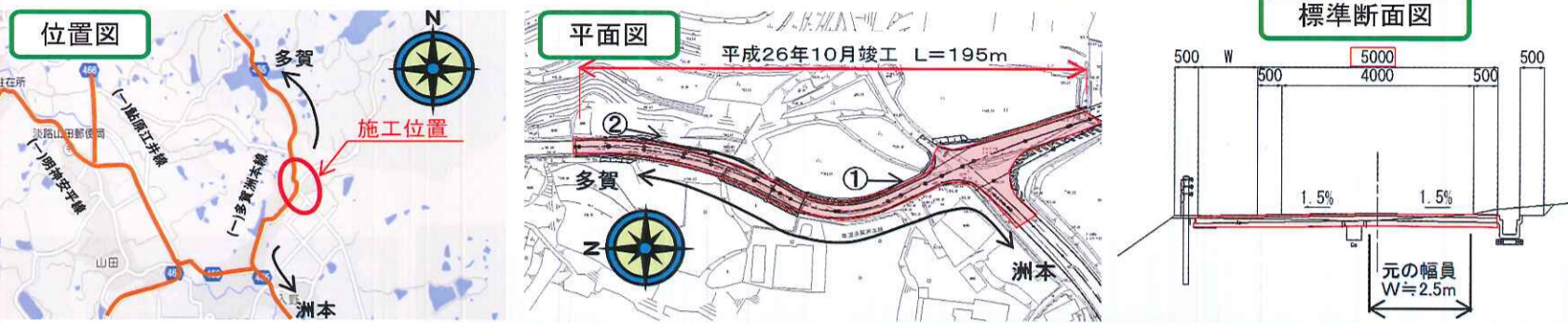
発行:平成26(2014)年11月25日

秋号

autumn
VOL.33

マップ① (一)多賀洲本線 入野地区 道路拡幅工事を紹介します。

(一)多賀洲本線は、淡路市旧一宮町と洲本市を連絡する幹線道路です。このうち淡路市入野地区については、幅員が狭く、自動車のすれ違いが困難であったため、交通に支障が生じていました。そこで、平成26年5月に道路拡幅工事を開始し、10月に完成しました。この工事により、自動車のすれ違いが可能になり、安全に通行することが出来るようになりました。



県民や事業者の皆様には、今冬も節電の取組を持続いただき、無理のない範囲での節電へのご協力をお願いします。

兵庫県マスコット
はばたん



季刊紙『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。



◇津波防災地域づくりの推進 「津波防災の日」に関連するイベント報告。

◎11月5日は「津波防災の日」

2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震による甚大な津波被害を踏まえ、同年6月に制定された「津波対策の推進に関する法律」において、広く津波対策についての理解と関心を深めることを目的として、毎年11月5日を「津波防災の日」と定めています。この日を中心に全国各地で地震津波防災関連行事が行われています。

○どうして11月5日なの？

江戸時代1854年11月5日(旧暦)、(太陽暦^{*1}では12月24日)に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらした、『稲むらの火』^{*2}のモデルにもなった安政南海地震の発生した日に因んだものです。

*1 太陽暦とは、地球が太陽の周りを回る周期(太陽年)を基にして作られた暦=現在の暦

*2 『稲むらの火』:安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際に、収穫した稲の束(稲むら)に火をつけ、暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて命を救った物語。実話では高台に避難させるためではなく、津波に追われる村人や漂流する人に逃げ道を教える目印にするため稲むらに火をつけたとある。

◇その他防災に関する日

①1月17日は「防災とボランティアの日」:1月17日の日付は平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災に因んでおり、同年12月の閣議で制定された。阪神・淡路大震災では、政府や行政の遅れが批判された一方で、学生を中心としたボランティア活動が活発化し、「日本のボランティア元年」といわれた。

②9月1日は「防災の日」:9月1日の日付は大正12年9月1日に関東大震災が発生したこと、また、暦の上では二百十日(立春から)に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあり、昭和34年に9月に「伊勢湾台風」が発生したことを契機に、翌年の昭和35年6月の閣議で制定された。

開催イベント 防災ステーションに津波高を表示した垂れ幕を設置

「津波防災の日」の11月5日に、通りがかった人たちに津波がどれほど大きいイメージしてもらうため、福良港津波防災ステーションに、南海トラフ巨大地震で想定される津波高を表示した垂れ幕を設置した。垂れ幕には最も大きい津波が予想される福良地区の8.1mのほか、洲本市や尼崎市で想定される津波の高さと到達時間を表示。11月5~7日の3日間掲示。



福良港津波防災ステーション 垂れ幕設置状況

淡路国際会議場で「巨大津波に備える」シンポジウムを開催

阪神淡路大震災から来年で20年を迎えるのを機に、発生可能性が高まる南海トラフ巨大地震への対策について考える「巨大津波に備える」シンポジウムが11月12日に県立淡路夢舞台国際会議場で開催されました。金田義行特任教授らの防災の専門家による講演及びパネルディスカッションに、平日にもかかわらず会場いっぱい約250人が広聴されました。



パネルディスカッション状況

土砂災害にも警戒して、早めの避難を！


県では、土砂災害危険度の詳細な情報を発信する「**地域別土砂災害危険度**」を作成しました。
 早期避難等による被害の軽減を図るため、「土砂災害警戒情報※」をさらにメッシュ状に細分化し、土砂災害の危険度が高まっている地域を詳しく色分けで示しています。
 是非、早期避難の判断に活用して下さい。

※「土砂災害警戒情報」とは、大雨警報(土砂災害)が発令された後に、さらに土砂災害の危険度が高まった市に対して、県と気象台が共同して発表する情報です。

インターネット、
 携帯端末から調べる
地域別土砂災害危険度 検索

<http://sabo.civil.pref.hyogo.lg.jp/mobile/>

携帯電話で、QRコードを読み取ってください。



New!
 地域別土砂災害危険度が発令されると、ケーブルテレビからも確認できます。

A TV
 淡路島テレビジョン

さんさんネット
 さんさんネット

兵庫県 地域別土砂災害危険度

表示地図地域選択
 ドロップダウンリストまたはガイドマップより表示したい地域を選択してください。
 淡路県民局 淡路市を選択

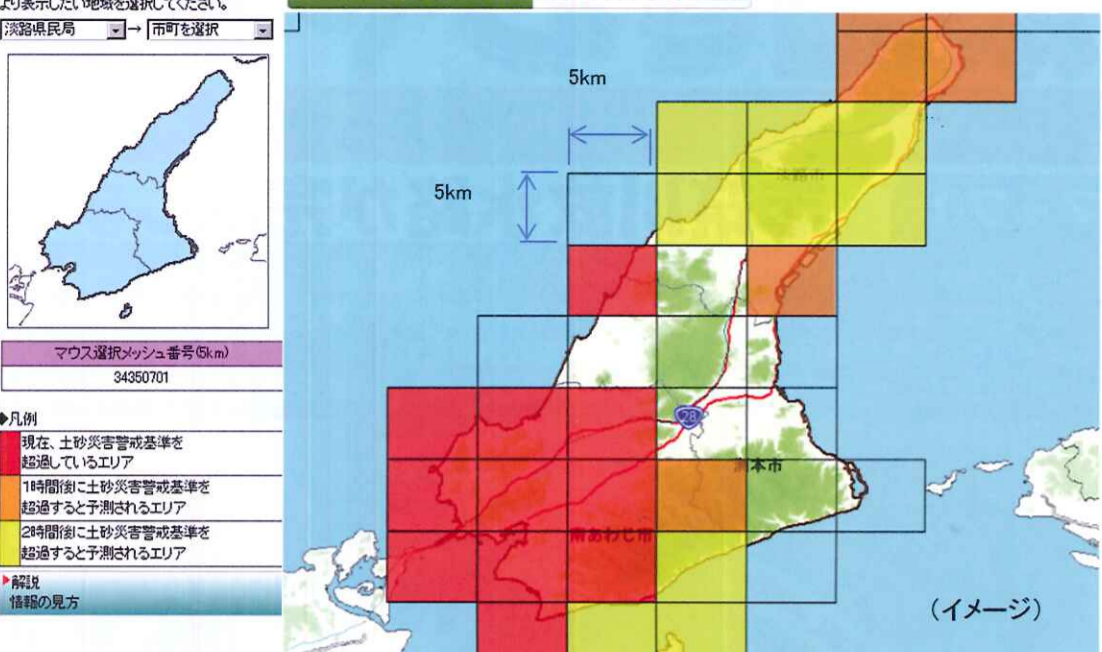
2013年09月16日05時00分 時点

メッシュクリックで危険度グラフを表示 メッシュクリックで市町域図を表示

マウス選択メッシュ番号(5km)
 34350701

凡例
 現在、土砂災害警戒基準を超過しているエリア
 1時間刻に土砂災害警戒基準を超過すると予測されるエリア
 2時間刻に土砂災害警戒基準を超過すると予測されるエリア

解説 情報の見方



(イメージ)

津波避難支援対策

- 道路情報板による津波情報の提供
- 道路法面等への階段など避難路の整備

近年発生が予想されている南海トラフ地震に備えて、想定津波が最も高くかつ最も早く到達する淡路島南部の海岸沿いの県道に、道路利用者が高所へ避難するための避難階段を1箇所、速やかな避難を促すための小型道路情報板を17箇所設置しました。

今後、南あわじ市灘黒岩にも1基津波避難階段を設置するとともに、既存の大型道路情報板の改良を行い、道路利用者の津波発生時の避難支援を行います。



津波注意報・警報発令時は自動的に表示

津波警報発令中

小型道路情報板
(南あわじ市灘城方)



津波が収まるまで避難できるスペースを確保

津波避難階段
(洲本市相川組)

淡路島へ「公共交通で」いらっしゃ〜い!

淡路島総合公共交通情報「あわじ足ナビ」発刊

淡路県民局では、島内住民の日々の生活や島外からの観光客の移動手段を確保するため、公共交通の利用を促し、地域の公共交通を守り、育てる方策に取り組んでいます。

その一環として、島内に発着点を持つ主要な高速バス、路線バス、コミュニティバス、海上交通の時刻表を網羅し、乗換え情報等をまとめた、淡路島総合公共交通情報誌「あわじ足ナビ」を作成しました。

是非、公共交通の利用にご活用下さい。

高速バス	(各バス・主要乗換バス) 路線図
路線バス	時刻表・バス停(乗換え表示)
コミュニティバス	バスのりば案内
旅客船	

観光地へのアクセス方法

島内3市の市役所、淡路交通(株)、本四海峡バス(株)の主要バス乗り場などで無料配布しています。

詳細については、インターネットで「あわじ足ナビ」検索して下さい。
 また、直接下記URLにて全ページをダウンロード出来ます。
 URL:<http://web.pref.hyogo.lg.jp/awk11/ashinabi.html>
 ※なお、掲載情報は、2014年8月1日現在ですので、ご利用される際はご注意ください。

一冊にまとめました。

淡路島総合公共交通情報 **あわじ足ナビ**

みんなであわじ足ナビで公共交通を

足ナビMAP (A2サイズ・中綴じ)



俳句で詠む淡路島百景

「淡路島百景」を題材にした俳句を募集しています!

淡路島百景 俳句

検索



淡路島には、海や山の自然に恵まれ、農漁村風景や国生み神話にまつわる史跡など優れた景観がたくさんあります。

淡路県民局では、淡路島景観づくり運動の一環として、より多くの人に景観に対する関心を持っていただくため、平成25年2月に一般投票をもとに「淡路島百景」を選定しました。

地域の人々の生活や文化によって守り育まれてきた「淡路島百景」は、大切な財産として将来へ継承する必要があります。また、今後の地域づくりや地域の活性化に繋げていく上でも重要なものであります。

そこで、情景はもとより、人や歴史・文化との深い関わりなど「淡路島百景」の素晴らしさを俳句で紹介する冊子を作成することにしました。皆さまの俳句に込められた情景や思いに、多くの方が共感し「淡路島百景」への愛着が深まることで、さらに魅力が再認識され、淡路島の景観の保全・形成に対する意識が高まることを期待しています。

淡路島の素晴らしい景観を代表する「淡路島百景」を題材にした俳句を募集します。「淡路島百景」は、一般投票をもとに選ばれた淡路島を代表する100の景観です。明石海峡大橋、洲本城址、慶野松原などが選ばれています。

●投句締切

平成26年9月30日(火)

●投句要領

「淡路島百景」を題材にした近作
 1人2句以内(有季定型・投句料無料)

指定投句用紙又は200字詰原稿用紙に、題材とした淡路島百景の名称、俳句に込められた情景や思い、未発表・既発表の別、郵便番号、住所、氏名、年齢、所属、電話番号、メールアドレスを明記の上ご郵送ください。(FAX・Eメール可)

投句と併せて、投句作品の題材となった淡路島百景の写真についても可能な限りご提供をお願いします。

●選者

稲畑 汀子(ホトギス名誉主宰)
 大久保白村(ホトギス同人)
 鈴木 貞雄(若葉主宰)
 成川 雅夫(岬主宰)
 安原 葉(ホトギス同人会長)※五十音順

●採用作品

淡路島百景の紹介冊子「(仮称)俳句で詠む淡路島百景」(平成26年度作成予定)に掲載します。

●投句先・お問い合わせ

〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋 2-4-5
 兵庫県淡路県民局洲本土木事務所まちづくり建築課
 TEL: 0799-26-3213 FAX: 0799-24-4513
 Eメール: sumotodoboku_02@pref.hyogo.lg.jp
 ホームページ:
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/aw04/keikan.html>

投句用紙のダウンロード、淡路島百景の各景の名称は、ホームページをご覧ください。未発表の応募作品の著作権は淡路県民局に帰属します。応募作品使用の際は氏名、住所市区町村名を掲載し公表する場合があります。その他、応募に当たっての注意事項など詳細についてはホームページをご覧ください。



皆さまからの多数のご応募、お待ちしております!



備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

発行：平成27(2015)年3月25日

【お問い合わせ先】
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL:0799-26-2055 FAX:0799-24-4513
URL: <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

冬号

winter
VOL.34

～阪神・淡路大震災から20年～ 1.17を忘れない！

平成7年1月7日に発生した「阪神・淡路大震災」から20年が過ぎ、震災を知らない世代等に経験と教訓を継承し、いつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを目指すため、今一度「阪神・淡路大震災」の概要を記載します。

■地震の発生状況

平成7年1月17日、5時46分、兵庫県南部に震度6、場所によっては震度7の強い地震が発生した。淡路から神戸、阪神間にかけて走る活断層群の断層破壊により生じたもので、その一部の野島断層は地表に大きく隆起・露出した地表地震断層である。

震源地	淡路島北部 北緯34度36分 東経135度02分
震源地の深さ	16km
各地の震度	6(神戸・洲本)、5(豊岡)、4(姫路)など 7(神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市、北淡町、一宮町、津名町の一部)
マグニチュード	7.3

■地震の特徴

人口350万人余が密集し、我が国の経済活動の中核を担う淡路北部から神戸市及び阪神地域の直下で発生した内陸・都市直下型地震であった。深さ16kmという比較的浅い部分で発生し、断層が横にずれることにより起こったもので、大きなエネルギーが一挙に解放されるタイプであった。

■被害の概要

1): 大都市を直撃した大規模地震のため、電気、水道、ガスなど被害が広範囲となるとともに、鉄道、新幹線、高速道路、新交通システム、都市間交通・地下鉄が損壊し、生活必需基盤(ライフライン)に壊滅的な打撃を与えた。2): 古い木造住宅の密集した地域において、地震による大規模な倒壊、火災が発生し、特に、神戸市兵庫区、長田区などでは大火災が多発した。3): 神戸・阪神地域という人口密集地で発生したため、多数の住民が避難所での生活を余儀なくされた。

■人的被害の特徴

死亡者6,402人(兵庫県)⇒(直接死5,483人、関連死919人)⇒直接死に占める主な死因は住宅や家具の倒壊による圧迫・窒息死が73%と圧倒的に多く、全半壊した住宅の64%が昭和56年以前に建てられた住宅(旧耐震基準)であったため、全国の住宅を地震に強い(新耐震基準)にすることが、阪神・淡路大震災の最大の教訓となった。

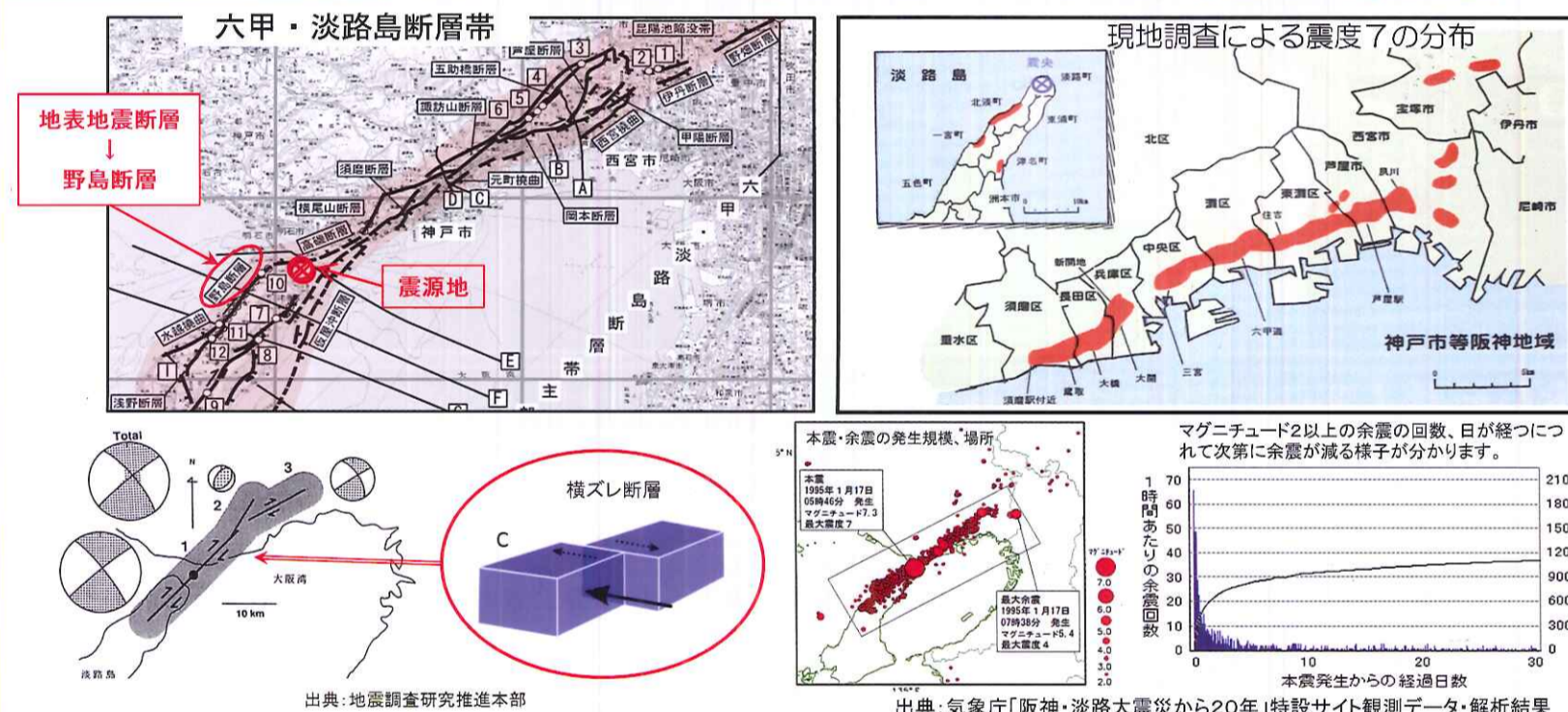


「阪神・淡路大震災」から早20年兵庫県は、『伝える』『備える』『活かす』を基本コンセプトとして、減災に向けた活動を行っています。



兵庫県マスコット
はばたん

季刊紙『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。
島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土産産も交えてお伝えしています。



兵庫県が取り組んでいる「ひょうご安全の日」について紹介します。

ひょうご安全の日とは

兵庫県では、「ひょうご安全の日を定める条例」(平成17年4月1日施行)に基づき、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承するとともに、いつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを期する日として、1月17日を「ひょうご安全の日」と定め、県民の参画のもと、「ひょうご安全の日」にふさわしいさまざまな事業に取り組んでいます。

ひょうご安全の日のつどい 阪神・淡路大震災20年追悼式典について

震災20年の節目となる平成27年1月17日、震災の経験と教訓を地域や世代を超えて伝承するため、「1.17は忘れない—「伝える」「備える」「活かす」—」をテーマに「ひょうご安全の日のつどい」・「阪神・淡路大震災20年追悼式典」が県下各地で開催されました。

淡路地域では、58人の犠牲者を出した淡路市の北淡震災記念公園で行われた。遺族ら約250人が参加し犠牲者への鎮魂の祈りがささげられた。20年の月日が過ぎて震災の教訓の風化が懸念されるなか、遺族代表は「皆さん、忘れないでください」と訴えた。また、震災公園以外でも追悼式や防災訓練等が行われた。



震災21年目へ新たな誓い(安全宣言)を行う日が、2015年1月17日です。
「ひょうご安全の日」ホームページ URL⇒ <http://19950117hyogo.jp/>



1. 17ひょうご安全の日宣言

阪神・淡路大震災から20年が経った
私たちは この震災を経験しなかった人たちにも
これからの災害に対して 私たちの教訓を活かしてほしい
そう願って 伝え続けてきた

でも 実際に経験しない限り 災害の教訓は他人事になっている
こんなにも 地球温暖化が進み 天変は増え
地球激動期が続き 地変も増え続ける
荒ぶる地球の至るところで 新たな災害が起こり始めている

東日本大震災の本格的復興が ようやく始まった
しかし 災害の多発・激化は わが国全体をおおている
思わぬ季節に大雪が降って まちが孤立し
思わぬ地域に大雨が降り 川があふれ 山がすべる
眠り続けているはずの火山が噴火し 忘れかけていた活断層が地震を起こす
防災・減災の努力が積み重なっても さまざまな災害が襲ってくる

進行する高齢化や人口減少
そして 止まらない東京一極集中と地方衰退
地域防災力はまだまだ不足している
でも 国土の安全な取組みは 減災社会につながる希望だ
災害による被害を小さくし しなやかに対応して 回復を早める
自助・共助・公助の組み合わせで実現できるはずだ

こんな時こそ 震災の教訓の出番だ
私たちの社会が 災害に負けず 持続的に発展するために
伝える 備える 活かす 阪神・淡路大震災の教訓を実践しよう
震災の教訓は 安全・安心な社会につながる知恵だから

2015年1月17日 ひょうご安全の日推進県民会議

「おもてなし環境整備」の概要

平成27年3月から開催される「淡路花博2015花みどりフェア(H27.3.21~5.31)」のイベントや本四高速の全国共通料金化に伴い、淡路島への来訪者の増加が予想されることから、「公園島淡路」の魅力を強くアピールするため、島内主要県道沿いやIC周辺に花壇・プランター等による沿道緑化や、「緑の道しるべ」10箇所を設置されている各種施設の修繕・更新・花植、及び岩屋港、福良港等8箇所を設置している「みなとの歴史回廊」の看板についても修繕・更新を実施し来訪者へのおもてなしの環境整備を行った。

● 緑の道しるべ(無料駐車場及び休息施設)修繕・更新10箇所



- 凡例
- 沿道緑化
 - 港湾緑地帯緑化
 - 緑の道しるべ
 - 港湾(みなとの歴史回廊)



● 「みなとの歴史回廊」看板(港湾の重要性、歴史的価値、文化的意義を県内外の来訪者に認識してもらうための)修繕・更新 8箇所



● 港湾緑地帯のプランター、花植による緑化



● 沿道緑化(プランター、花植)



お知らせ! 淡路地域公共交通総合時刻表『あわじ足ナビ』について

この度、淡路花博2015「花みどりフェア」開催に合わせ、各交通機関のダイヤ改正や南あわじ市「らんらんバス」の運行再編を反映し、昨年8月に発行した淡路地域総合交通時刻表「あわじ足ナビ」を改訂しましたので、お知らせします。

- ①冊子名: 淡路地域総合交通時刻表「あわじ足ナビ」(平成27年4月1日現在) 様式: A4判サイズ 44ページ(中綴じマップA2サイズ)
- ②配布場所: 淡路県民局、洲本市役所、南あわじ市役所、淡路市役所の案内窓口、(一社)淡路島観光協会の各案内所、淡路交通(株)、本四海峡バス(株)等の乗車券販売所等、詳しくは下記ホームページを参照下さい。尚、花博期間中は淡路会場・洲本会場・南あわじ会場の各案内所にも備えています。

問い合わせ先: 兵庫県淡路県民局 洲本土木事務所 企画調整担当
TEL: 0799-26-2055 Fax: 0799-24-4513
淡路県民局のホームページにて全ページをダウンロードできます。

URL⇒ <http://web.pref.hyogo.jp/awk11/ashinabi.html>



「俳句で詠む淡路島百景」を発刊しました!

～淡路島景観づくり運動の推進～

淡路花博2015花みどりフェアの開催を契機として、より一層、淡路島の景観の魅力を発信するため、俳句により百景を紹介する冊子「俳句で詠む淡路島百景」を発刊しました。

俳句に込められた情景や思いに、更なる趣と魅力を感じていただけるものと思います。是非ご覧いただき、淡路島百景の情景を心に思い描いてみませんか。

収録されている俳句は、6月から9月までに一般募集を行い、1,237句の応募作品の中から選定しました。ご協力ありがとうございました。

選者

- 稲畑 汀子(ホトギス名誉主宰)
- 大久保 白村(ホトギス同人)
- 鈴木 貞雄(若葉主宰)
- 成川 雅夫(岬主宰)
- 安原 葉(ホトギス同人会長)

※五十音順

掲載内容

- ・淡路島百景の概要(百景一覧、マップ等)
- ・優秀句: 51句(俳句講評、景観解説、写真)
- ・佳作: 41句
- ・生徒作品優秀句: 7句
- ・特別投句 7句(井戸知事、浜田県議会議員、選者5名)
- ・コラム(県立淡路景観園芸学校 齊藤庸平校長 他3名)

配布(無料)

- ・花みどりフェアの会場
淡路会場……県立淡路夢舞台国際会議場2階回廊
洲本会場……すもとアルファピアミュージアム 休憩所
南あわじ会場……美菜恋来屋(みなこいこい) ※パネル展示も行います
- ・島内観光案内所、主要観光施設、バスターミナルなど

お問い合わせ

部署名: 淡路県民局 洲本土木事務所
TEL: 0799-26-3213 FAX: 0799-24-4513

ホームページ

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/aw04/keikan.html>

